

秋田に新しい風を!!

秋田県議会議員 川辺じゅんのすけナ

活動ニュースレター | 2025.12 ISSUE | Vol.01

秋田を前に進める!

「今の秋田でゆっくりはしていられない」この思いで、4月の

当選後、初めての議会で一般質問と総括質疑と全ての機会に手を挙げました。

その後の2回の議会でも総括質疑で質問をし、決算委員会では副委員長を拝命して全部局の審査に臨みました。

「秋田の未来を、こう明るくする」。今の秋田に必要なのはこのビジョンと思い

「こうしたらできるんじゃないですか」と言い続けてきました。

「こんな明るい話を聞けて、うれしかった。やってみようと思う気持ちになった」。

年配の方からかけられたこの言葉が忘れられません。「やってみる」この気持ちが増えていけば、秋田には必ず明るい未来が来ます。

前に、前に、秋田を進めます。未熟者ですが、全力で働いてまいります。



じゅんのすけが訴えてきたこと

Q 子どもたちが希望を抱ける「未来の秋田」を示してほしい。

私が描く未来の秋田は、誰もが健康に暮らしながら働き、それぞれの楽しみ方を見つけて幸せを感じ、自らが望む形で次の世代につなぐことができる社会が、全県にある秋田です。

「人口減少を止める」だけでは足りません。どんな分野でも「こう変わる」という未来を示すことが、大きな課題を乗り越える力になるはずです。知事の心強いお答えでした。



じゅんのすけ

Q 雨が降るたびに不安を感じることがないように水害対策を完遂する決意を示してほしい。

令和10年度に桜大橋までの区間の改修工事を完成させ、また、その上流区間も設計と測量を進めています。県民の命と暮らしを守るという強い使命感を持って、太平川の治水に全力で取り組みます。

太平川河川改修は必ず成し遂げるとの決意をいただき、流域に住んでいる身としても心強く感じました。議員としても、安心・安全な秋田のために必ず事業を完遂させます。



じゅんのすけ

Q 秋田の強みである農林水産業を生かさない手はない。武器である「米」で生き残る戦略を作ってほしい。

「農林水産業の発展なくして秋田の未来はない」との強い決意を持って、生産基盤の強化や輸出の拡大などを通じて新しい秋田の未来を切り拓いていきます。また、米の需要を獲得し、安定供給に向けて生産を拡大するなど、主産県としての責務を果たしていきます。

秋田を前に進める上で、農林水産業という強みを活かさない手はありません。そのためには、「右にならえ」の取組ではなく「秋田だけの戦略」をしっかりと作っていきます。



じゅんのすけ

Q 高校生を呼び込む力のある、スポーツという秋田の強みを取り戻してほしい。

スポーツを目的にした中学生の県外進学の増加に前期選抜の廃止という入試の影響があるかどうかを検証して、来年3月までに高校入試制度の在り方について結論を得ます。

「子どもに秋田で競技をやらせたい」という皆さんの思いが叶うように、3月の検証結果を踏まえてしっかりと議論していきます。



じゅんのすけ

来年の抱負

福祉、子育てなど、より身近な課題にも取り組んでいきます!



政策
トピックス

「来年も今年と同じようになるのでは…」という不安をなくすために、

クマ対策は変わります!

1

「出たから捕獲を」から、
より予防的に
「事前に捕獲を」

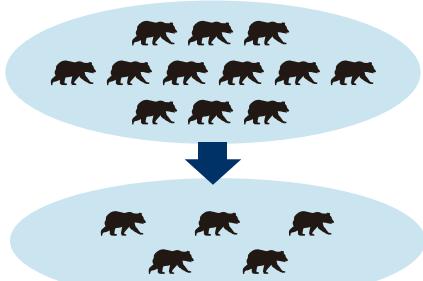
人里に近いエリアを「管理強化ゾーン」に位置付け、そこで先んじて捕獲することで、街にたどりつくクマを減らします。



2

最新の生息数調査に基づき、 **クマの数を 抑える**

県内のクマの頭数調査を2026年3月まで実施。その結果を踏まえて春グマの捕獲強化などを進め、クマが増えすぎないようにします。



3

クマが出たときにも しっかり **「戦える」体制**

クマが出現したときに速やかに銃猟ができるように準備を進めます。また、警察の熊駆除チームとも新たに連携し、万全の体制でクマの捕獲を行います。



Profile 1982年7月 秋田市生まれ

広面在住、2児(10歳と4歳)の子育て中。
東小学校、城東中学校、秋田高校、慶應義塾大学を経て2008年農林水産省入省。農村振興や土地改良、米政策を担当し、警察庁や財務省、在ドイツ日本国大使館(ドイツで秋田県産品のPRも!)にも出向。
これまで培った経験を故郷秋田のために生かしたいと思い、秋田で頑張ることを決心。
秋田県議会では農林水産委員会に所属。自由民主党会

秋田県議会では農林水産委員会に所属。自由民主党政。



ウェブページと
SNSはこちら



#01

じゅんのすけ
コラム

ここでは霞が関の思い出を少し。

官庁訪問の最後の面接者である秘書課長が、必ず「最近読んだ本は?」と聞いていました。(私の答えは福永武彦の『草の花』だった気がします。)入省後にその理由を聞くと、「この仕事で重要なことは、人の心を読むこと。読んでいる本でそれができるかわかる。」と。今になって「人の心を読む」とことは、どんな仕事にも通用すると感じています。同時に、「相手がどう思うか想像力を持つ」ことを大事にしないとお山の大将になるなど、気を引き締めました。

そんな私を、息子は「ぼくのことをわかっていない」と怒ります。もつと本を読まないと…

(次回まもつとも「びた仕事の話…。」)

(次回はもつともしびれた仕事の話を。)

県政報告でも霞が関のおもしろ話でも、何でもお話に行きます！
何人であっても伺いますので、遠慮なくご連絡ください。

川辺じゅんのすけ事務所

〒010-0041 秋田市広面字広面63-1

TEL 080-1021-4702 **FAX** 018-832-1921
MAIL info@kawabe-junnosuke.com

MAIL info@kawabe-junnosuke.com